

会員の皆様にお聞きしました

新南陽の景況感

監修・分析/マサエンジニアリング代表
中小企業診断士 佐伯 昌之 氏

調査概要

調査対象期間	2022年10月～12月（現状）における景況感と、 2023年1月～3月（今後）における景況見通し
調査対象	新南陽地域の企業80社
調査方法	商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収
調査項目	「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

業況D-は若干持ち直すが依然としてマイナス、感染拡大・円安・コスト上昇等、採算は改善せず、先行き見通しの業況D-は悪化の懸念、厳しい見通し。

新南陽地域の2022年10月～12月期の業況D-の全産業合計値は▲43・6%となり、前期調査（7月～9月期）よりもマイナス幅が19・4ポイント縮小した。全国では「第170回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」全産業の業況D-のマイナス幅も縮小している。

新南陽地域の今後3カ月の先行

き見通しでは、全産業合計値のマイナス幅は拡大する見通しとなっており、厳しい見方となっている。全国の今後3カ月の先行き見通し「第170回中小企業景況調査」の全産業合計値は、マイナス幅は縮小する見通しとなっている。全国的には全国旅行支援による観光需要の回復や、年末年始商戦の個人消費拡大への期待感が伺え

る一方、感染拡大による消費マイナスの低下の危惧の声がある。エネルギー価格の高騰によるコスト負担増や深刻な人手不足等、中小企業の先行きは、厳しい見方となっている。（商工会議所L O B O調査12月）

【卸・小売業】

業況D-、売上高D-、採算D-、資金繰りD-が▲100%（全事業者が悪いと回答）。また、仕入単価D-、従業員D-、設備D-は前回と比べて改善している。

今後3カ月の先行き見通しでは、業況D-、売上高D-、採算D-、資金繰りD-が▲100%（全事業者が悪いと回答）に加え、仕入単価D-も▲100%となる見込み。

前年同様に悪い、原油高・物価高騰の影響が仕入価格に影響していると報告有。

【製造業】

業況D-、売上高D-、仕入単価D-、従業員D-が前回の調査に比べて改善した。採算D-は前回に比べてマイナス幅が拡大している。資金繰りD-は前回と同じで▲100%（全事業者が悪いと回答）。

今後3カ月の先行き見通しは、資金繰りD-以外は全て悪化する見込み。その中で、業況D-、売上高D-、採算D-、仕入単価D-

は、▲100%（全事業者が悪いと回答）。
資材のコスト高で苦勞している
と報告有。

【サービス業】

業況D-、売上高D-、採算D-、仕入単価D-、従業員D-は改善している。資金繰りは悪化している。

今後3カ月の先行き見通しでは、業況D-、売上高D-は悪化。採算D-、仕入単価D-、資金繰りD-マイナス幅は縮小する見込み。人手不足で長時間労働になっているとの報告有。

【飲食・宿泊業】

業況D-、売上高D-、従業員D-、設備D-が前回の調査に比べて悪化している。採算D-、資金繰りD-のマイナス幅は縮小している。

今後3カ月の先行き見通しの業況D-、売上高D-、採算D-はマイナス幅が拡大の見込み。

売上高のほとんどがプレミアム食事券。原油価格・物価高騰がいつまで続くのか不安との報告有。

【建設業】

業況D-、売上高D-は前回の▲100%（全事業者が悪いと回答）から改善して0%。採算D-、仕入単価D-、資金繰りD-は▲100%（全事業者が悪いと回答）。今後3カ月の先行き見通しは、売

DI（景気判断指数）値とは？

DI 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

DI = (増加・好転などの回答の割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化)

売上：(増加) - (減少)

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-43.6%	-58.6%	-100.0%	-100.0%	-20.0%	-100.0%	14.3%	0.0%	-25.0%	-60.0%	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%
売上高	-40.9%	-58.8%	-100.0%	-100.0%	0.0%	-100.0%	14.3%	-14.3%	-25.0%	-66.7%	0.0%	-33.3%	-100.0%	-33.3%
採算	-72.1%	-73.0%	-100.0%	-100.0%	-60.0%	-100.0%	-14.3%	0.0%	-50.0%	-71.4%	-100.0%	-71.4%	-100.0%	-100.0%
仕入単価	-89.7%	-96.1%	-86.7%	-100.0%	-77.8%	-100.0%	-77.8%	-75.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
従業員	84.0%	78.6%	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	20.0%	20.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
設備	69.2%	38.5%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	-33.3%	-33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%
資金繰り	-56.5%	-56.5%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-20.0%	0.0%	-66.7%	-66.7%	-100.0%	-100.0%	33.3%	33.3%

※前年比…2022年10月～12月と前年同月の比 見通し…今後3ヶ月（2023年1月～3月）の見通し

●●●● 会員の声 ●●●●

【卸・小売業】

- ◇景気はまちがいく改善していると思いますが、それにブレーキをかけているのは、物価高などの影響があります。
- ◇いつも大変お世話様になり、感謝しております。今年は例年になき、残暑で、又、コロナもなかなか終息せず困っております。お客様が少なく、大変、厳しい状態です。又、インボイス制度のことも心配です。
- ◇コロナも終息傾向にあるようだが、物価高の影響で買い物意欲が低下している。安いものを追っかけている気がする。業界ではお茶ばなれが加速している。（急須でお茶を飲む習慣がうすれている）

【製造業】

- ◇原油価格高騰、仕入価格高騰により、商品価格の値上げが経営上の問題である。

【サービス業】

- ◇原油価格高騰。

【飲食・宿泊業】

- ◇プレミアム食事券のおかげで来客が増加しました。

【建設業】

- ◇仕入価格が万単位で上昇した商品もあった。

【運輸業】

- ◇国交省の船員の働き方改革推薦の法改正もあり、船員の人手不足が深刻となっており、採用活動に苦慮している。
- ◇原油価格の高止まりは変わらず、見通しも厳しさが続くと予測。当社の主力事業である運送業への影響ははかりしれない。ただ経費を若干おさえることができているので、経常利益への影響は最小限に抑えることができている。
- ◇物流業界の人手不足について深刻化が増し、今後も具体的な解決策がない状態である。山口県は全国平均よりも有効求人倍率が高い状態にあり、このまま高卒就職希望者数も減少し続けることとなると、更なる物流の混乱が発生することは間違いないと考える。

上高DIは改善。採算DIは悪化する見通し。材料費は高騰しているが、受注が減少するため価格を上げることができないと報告有。

【運輸業】
業況DI、売上高DI、採算DI、仕入単価DIは▲100%（全事業者が悪いと回答。設備DI、資金繰りDIは改善してプラス（良いと回答している方が多い）を維持している。今後3カ月の先行き見通しの業況DIは売上高DIのみ、マイナス幅が減少している。原油価格高騰による影響と人材不足の報告有。

金繰りDI改善してプラス（良いと回答している方が多い）を維持している。今後3カ月の先行き見通しの業況DIは売上高DIのみ、マイナス幅が減少している。原油価格高騰による影響と人材不足の報告有。